

プレスリリース（仮訳）

監査監督機関国際フォーラム（IFIAR）が「**Information Paper**：グローバルネットワークに対する監督の促進」を公表

2020年9月10日

世界的な COVID-19 の渦中で、COVID-19 はビジネスに重大な支障をきたしかねないため、関係者はこれまで以上に財務報告の信頼性の確保に注意を払っている。この流れを受けて、本日 IFIAR は、高品質な監査及び監査監督と他の要素を併せた、財務報告エコシステムに対する重要性を強調し、資本市場の信頼の形成における財務報告エコシステムの役割の概要を記載した Information Paper を公表した。

IFIAR は、加盟国に対し、情報交換や経験共有を行うためのプラットフォームを提供している。同様に、IFIAR はグローバルネットワークとの対話の場を設け、世界的な監査品質の向上を試みている。この Information Paper では、グローバルネットワーク特有の構造的な特徴を説明し、また、IFIAR が規制当局ではない中で、グローバルネットワークとメンバーファームへの関与により、いかにそれらに対する監督を促進しているかを概説している。

IFIAR について

監査監督機関国際フォーラム（IFIAR）は、2006年に設立され、アフリカ、北米、南米、アジア、オセアニア、ヨーロッパの 55 の国・地域の独立した監査監督当局で構成されている。その使命は、グローバルに監査監督を向上させることにより、投資家を含む公益に資することである。IFIAR は、世界中の監査品質や規制実施について、対話や知見の共有ができるプラットフォームを提供し、規制活動における協調を促している。IFIAR の公式のオブザーバーは、バーゼル銀行監督委員会（BCBS）、欧州委員会（EC）、金融安定理事会（FSB）、保険監督者国際機構（IAIS）、証券監督者国際機構（IOSCO）、公益監視委員会（PIOB）及び世界銀行である。IFIAR に関する更なる情報については、IFIAR ウェブサイト（www.ifiar.org）を参照されたい。